

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(4年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	シホロ ちょう 土幌町	シホロ きた 土幌北	平成25年度	平成27年度	土幌町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)				4年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	4年度目	
① 経営面積の拡大	2 0	4 1	5 3	5 4	80%
② 耕作放棄地の解消					
③ 農業の6次産業化	1 1	1 1	1 0	1 0	0%
④ 農産物の高付加価値化	5 2	6 0	6 4	6 4	67%
⑤ 農業経営の複合化					
⑥ 農業経営の法人化					
⑦ 雇用					

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)				4年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等
				1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	4年度目		
1	A	農業の6次産業化 (生食用タマネギの出荷契約)	0	1 (1カ所,120t)	1 (1カ所,120t)	1 (1カ所,120t)	1 (1カ所,120t)	0.0%	-
		農産物の高付加価値化 (生食用タマネギの販売単価:円/kg)	加工用タマネギ 30 (0.9ha)	50 (3.0ha) 68 (2.6ha)	50 (3.0ha) 28 (2.5ha)	50 (3.0ha) 0 (0.0ha)	50 (3.0ha) 0 (0.0ha)	-150.0%	-
2	B	経営面積の拡大(ha)	48.2	60.2 57.2	60.2 58.2	60.2 60.7	104.1% (0戸)	-	
		農作物の高付加価値化 (ゆめちからの交付金単価:円/60kg)	きたほなみ 6,450	きたほなみ 6,450	きたほなみ 6,450	きたほなみ 6,450	0.0%	・共済細目書 ・小麦受入生 産者別明細書	
			ゆめちから 9,000	ゆめちから 9,000	ゆめちから 9,000	ゆめちから 9,000			
			きたほなみ 6,450 (12.4ha) ゆめちから 0 (0.0ha)	きたほなみ 6,410 (12.4ha) ゆめちから 0 (0.0ha)	きたほなみ 6,410 (12.0ha) ゆめちから 0 (0.0ha)	きたほなみ 4,600 (11.0ha) ゆめちから 0 (0.0ha)			
3	C	経営面積の拡大(ha)	59.3 (0戸) (自59.3借0.0)	61.8 (1戸) (59.3+2.5) 59.3 (0戸) (59.3+0.0)	61.8 (1戸) (59.3+2.5) 61.1 (0戸) (61.1+0.0)	61.8 (1戸) (59.3+2.5) 61.1 (0戸) (61.1+0.0)	216.0% (0戸)	・農地台帳	
		農産物の高付加価値化 (菜豆(大正金時)の導入:ha)	大豆 4.3 小豆 5.1	エリモショウス' 5.0 大正金時 5.5 エリモショウス' 4.9 大正金時 2.3	エリモショウス' 5.0 大正金時 5.5 エリモショウス' 0.0 大正金時 4.5	エリモショウス' 5.0 大正金時 5.5 エリモショウス' 5.0 大正金時 5.5	100.0%	-	
4	D	経営面積の拡大(ha)	42.2 (0戸) (自42.2借0.0)	42.2 (0戸) (42.2+0.0)	42.5 (1戸) (42.2+0.3) 42.2 (0戸) (42.2+0.0)	42.5 (1戸) (42.2+0.3) 42.7 (0戸) (42.2+0.5)	166.6% (0戸)	-	
		農産物の高付加価値化 (甜菜(ラテール)の糖分:%)	スタウト 16.0	16.4 16.3	16.4 14.6	16.4 17.3	325.0%	-	

5	E	経営面積の拡大(ha)	61.3 (4戸) (自6.0借55.3)	61.3 (4戸) (6.0+55.3)	65.3 (4戸) (6.0+59.3)	65.3 (4戸) (6.0+59.3)	65.3 (4戸) (6.0+59.3)	0.0% (4戸)	・農地台帳
		農産物の高付加価値化 (甜菜(ラテール)の糖分:%)	スタウト 16.2	16.6 17.7	16.6 16.2	16.6 18.3	524.9%	—	
6	F	経営面積の拡大(ha)	49.8 (2戸) (自25.7借24.1)	49.8 (2戸) (25.7+24.1)	49.8 (2戸) (25.7+24.1)	50.1 (2戸) (25.7+24.4)	399.9%	—	
		農産物の高付加価値化 (馬鈴薯の規格内率:%)	82.7	82.7 82.7	85.0 81.9	85.0 86.4	160.8%	—	

Ⅲ 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

4年度目は、地区の成果目標3項目、「経営面積の拡大(80%)」「農業の6次産業化(0%)」「農産物の高付加価値化(67%)」が目標を達成することができなかった。

- ・「経営面積の拡大」は農地の取得を希望しているが調整が整わなかったため目標達成に至らなかった。今後目標を達成できるよう、農業委員会等の関係機関との連携や、近隣町村の離農等の情報収集し平成30年度での農地取得を目指す。
- ・「農業の6次産業化(タネキの出荷契約)」は、出荷先の意向により契約に至らず作付ができなかった。今後、新たな契約先を確保するため、関係機関と連携し平成30年度の達成を目指す。
- ・「農産物の高付加価値化」は、1経営体(生食用タネキ)については、契約先の意向や契約単価により出荷契約を結ぶことができなくなり作付に至らず、また、1経営体(小麦ゆめちから)については、本人の作付希望があるものの、土幌町管内での作付面積の割当や所属する麦作組合内での割当の関係上、平成28年度内の作付には至らなかった。関係機関等と連携し平成29年度の達成を目指す。